

平成22年度

徳島大学大学院先端技術科学教育部

博士後期課程

第3次学生募集要項

(一般入試・社会人特別入試)

# 入試関係日程

募集要項公表	12月25日(金)頃
入学資格の資格審査	1月13日(水)
障害がある入学志願者の事前相談	1月13日(水)
出願期間	1月26日(火)から1月28日(木)
試験日	2月16日(火)
合格発表	2月26日(金)
入学手続	3月5日(金), 8日(月)

問合せ先等

〒770-8506

徳島市南常三島町2-1

徳島大学工学部学務係

Tel 088-656-7315~7317

Fax 088-656-2158

<http://www.elh.tokushima-u.ac.jp>

## 大学院先端技術科学教育部博士後期課程アドミッションポリシー

### 建設創造システム工学コース

生活・生産基盤施設、交通施設、防災施設、環境保全施設等の調査・解析・計画、設計・施工・運用システムおよび維持管理に関わる技術を研究するのに必要な基礎学力を持つ学生を求めています。

キーワード：●自然環境や公共空間に関する興味 ●数理解析や論理思考を伴う創造力  
●チャレンジ精神と行動力

### 機械創造システム工学コース

機械工学に関する工学修士の学位または同等以上の学力を有し、機械工学に関する高度の専門知識と研究能力を求め、創造的技術者・研究者に成長したい優秀な学生を求めています。

キーワード：●機械工学への学術的創造力

### 化学機能創生コース

化学及び化学技術に関する新しい原理、方法、現象等の探究を通じてその成果を更に高度に発展させることに興味をもち、将来、国際的、学際的な研究プロジェクトの中核となることをめざす学生を求めています。

キーワード：●探究心、積極性、独創性、国際性

### 生命テクノサイエンスコース

生物工学技術者・研究者をめざし、本コースに強い入学意欲を持った向学心の旺盛な学生を求めています。

キーワード：●生命に対する深い興味 ●柔軟かつ独創的な発想 ●強い目的意識

### エコシステム工学コース

自然・社会環境からなるエコシステムでの、エネルギー循環、環境低負荷、安全安心な社会環境、リスク管理、人間支援に関する技術開発や政策課題に取り組む強い意欲を持つ学生を求めています。

キーワード：●エコシステムに関する洞察力と探究心 ●国際性  
●課題解決に対する自主性、独創性、チャレンジ精神

### 電気電子創生工学コース

電気電子工学に関する課題を、幅広い視野と論理的な思考で解決し、地域社会、国際社会に貢献できる技術者を育成するため、勉学に強い意欲を持った学生を求めています。

キーワード：●創造性に富んだチャレンジ精神 ●国際的なコミュニケーション能力  
●チームでの課題解決能力

### 知能情報システム工学コース

知能情報工学の技術者としての標準的水準の能力を持ち、広い視野と自律的に行動できる能力を持つ国内外の社会に貢献できる人材を育成するために、基礎学力と旺盛な勉学意欲を持つ学生を求めています。

キーワード：●知能情報工学の専門知識と技術力 ●論理的分析・思考・表現・解決力  
●自発的学習力と共同作業の協調力

### 光システム工学コース

高い専門能力と広い視野で、社会のリーダーとなり、また国際的なコミュニケーション能力を身につけた研究者・技術者を育成します。

キーワード：●創造的研究 ●国際的なコミュニケーション能力 ●感性が豊かで柔軟な発想

# 一般入試

## 1 募集人員

専攻	コース	募集人員	講座内容
知的力学システム 工学専攻	建設創造システム工学コース	若干人	建設構造工学 環境整備工学 社会基盤工学 社会システム工学
	機械創造システム工学コース		機械科学 機械システム 知能機械学 生産システム ナノプロセス工学講座（連携講座）
環境創生工学専攻	化学機能創生コース	若干人	物質合成化学 物質機能化学 化学プロセス工学
	生命テクノサイエンスコース		生物機能工学 生物反応工学
	エコシステム工学コース		資源循環工学 社会環境システム工学 海洋環境工学（連携講座）
システム創生工学専攻	電気電子創生工学コース	若干人	物性デバイス 電気エネルギー 電気電子システム 知能電子回路 電気エネルギー（連携講座）
	知能情報システム工学コース		基礎情報工学 知能工学
	光システム工学コース		光機能材料 光情報システム

注) 募集人員の中には、社会人特別入試の若干人及び外国人留学生特別入試の若干人を含みます。

## 2 出願資格

- (1) 出願することができる者は、次のいずれか一つに該当する者としてします。
- (2) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び平成22年3月31日までに取得見込みの者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成22年3月31日までに取得見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成22年3月31日までに取得見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成22年3月31日までに授与される見込みの者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 本教育部において、個別の入学資格審査により上記(1)に規定する者と同等以上の学力があると認められた者で、平成22年3月31日までに24歳に達する者

### 出願資格(5)、(6)の認定について

- 1 出願資格(5)に定める「文部科学大臣の指定した者」の範囲は、次の①及び④の要件を満たす者であること。  
出願資格(6)に定める「修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者」の範囲は、次の②又は③及び④の要件を満たす者であること。
- ① 大学を卒業し、又は学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者であること。
- ② 大学を卒業し、又は学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された後、科学・技術関係分野で2年以上の業務経験があること。

- ③ 短期大学，高等専門学校，専修学校及び各種学校の卒業後又はその他の教育施設の修了後，大学，企業及び公設の研究等において4年以上研究に従事するか，又は科学・技術関係分野で4年以上の業務経験があること。
- ④ 著書，学術論文，学術講演，学術報告及び特許等において修士学位論文と同等以上の価値があると認められる研究業績を有する者であること。
- 2 出願書類は，徳島大学大学院先端技術科学教育部において入学試験出願資格認定審査が終了するまで，その受理を保留します。

該当する志願者は，「最終学歴の卒業証明書」及び「入学試験出願資格認定審査調書」（本教育部所定の用紙）及び「研究業績調書」（本教育部所定の用紙）に論文の別刷等を添付し，平成22年1月13日（水）までに工学部学務係に提出してください。

### 3 入学者の選抜方法

#### (1) 選抜方法

入学者の選抜は，コースにより筆記試験（英語），口述試験及び書類審査の結果を総合して行います。

#### (2) 検査科目、試験日時及び場所

コ ー ス	2月16日（火）				場 所
	科目	時 間	科目	時 間	
建設創造システム工学コース			口述試験	9:00～	徳島市南常三島町2-1 工学部講義室配置を参照
機械創造システム工学コース			口述試験	9:00～	
化学機能創生コース	薙(注)	————	口述試験	9:00～	
生命テクノサイエンスコース	英語	9:00～11:00	口述試験	11:15～	
エコシステム工学コース	英語	9:00～11:00	口述試験	11:15～	
電気電子創生工学コース	薙(注4)	9:00～11:00	口述試験	11:15～	
知能情報システム工学コース			口述試験	11:15～	
光システム工学コース			口述試験	11:15～	

#### (注)

- 筆記試験においては，試験開始後30分以上経過した遅刻者は，受験できません。
- 筆記試験においては，試験開始から終了まで退出は認めません。
- 化学機能創生コースの英語は学力検査を行わずTOEIC又はTOEFLの成績を選抜判定の資料とします。ただし，TOEIC又はTOEFLの成績通知書の提出がない場合は，英語の口述試験を行います。
- 電気電子創生工学コースの英語は口述試験で行いますが，TOEIC又はTOEFLの成績通知書を提出した場合にはこれを免除することがあります。
- 口述試験の内容  
口述試験は，志望する研究分野に関連する科目，修士論文（修士課程修了見込みの者については修士論文研究の進捗状況），研究業績調書，研究計画書等の内容について行います。
- 口述試験の時間  
口述試験の開始時間については希望指導教員より通知します。

### 4 障害のある入学志願者との事前相談

受験上及び修学上で特別な配慮を必要とする場合は，次のとおり工学部学務係に申し出てください。

#### (1) 時期

平成22年1月13日（水）まで

（注）特別措置等の方法を検討する必要がありますので，できるだけ早い時期に相談してください。

#### (2) 方法

次の①～⑦を記載した書類（様式は任意）を提出してください。

- 氏名，生年月日
- 志望専攻，コース
- 現住所，電話番号及び保護者の連絡先
- 障害の種類，程度（後日，健康診断書の提出を依頼する場合があります。）
- 受験の際に特別な配慮を希望する事項及び内容

- ⑥ 出身学校在学中にとられていた特別措置及び出身学校名
- ⑦ 日常生活の状況等

## 5 出願手続

### (1) 願書受付期間及び出願方法

#### ① 願書受付期間

平成22年1月26日(火)から平成22年1月28日(木)17時まで(必着・郵送を含む。)  
(受付時間:9時~17時 ただし12時~13時を除く。)

#### ② 出願方法

願書類等は本募集要項添付の封筒を使用してください。

なお、郵送の際は、必ず「書留速達」としてください。

#### ③ 提出先

〒770-8506 徳島市南常三島町2-1 徳島大学工学部学務係  
電話 088-656-7315,7317 Fax 088-656-2158

#### ④ 募集要項の請求

願書を郵便で請求する場合は、あて名を明記し、390円切手を貼った返信用封筒(角2封筒33.2cm×24.0cm)を同封してください。

#### ⑤ 出願手続き等に不明の点がある場合は、工学部学務係に照会してください。

### (2) 出願書類等

書類等の種別	該当者	記入方法, 注意事項等
入学願書 受験票, 写真票	全員	所定の用紙に必要事項を記入してください。 受験票及び写真票には上半身, 脱帽, 正面向きで同一の写真(縦4cm×横3cm, 最近撮影した本人確認が可能なもの)をはってください。
修了(見込)証明書	本研究科又は本教育部 博士前期課程修了者及 び修了見込者	不要。
	上記以外	必要。出身大学長(研究科長)が作成した修士課程修了証明書。ただし、平成22年3月修了見込みの者は、修士課程修了見込み証明書が必要。
成績証明書 (学部及び大学院)	全員	出身大学(学部)長及び(研究科)長が作成し、厳封したもの。
修士学位論文要旨	全員	所定の用紙に、2,000字以内で記入してください。ただし、修士課程修了見込みの者は、修士論文の研究題目とその研究の進捗状況について要約したもの。なお、関連した論文の別刷又は学術講演、特許等がある場合は、そのコピーを添付してください。
研究業績調書	修士論文に関連したもの の他に研究業績を有する者	修士論文に関連したものの他に研究業績を有する者は、所定の用紙(本学生募集要項とじ込み)に、著書、学術論文、学術講演、学術報告、特許及び実用新案等社会における研究活動状況を示すものを記入してください。なお、関連した論文の別刷等の資料を添付してください。
研究計画書	全員	研究を希望するテーマあるいは分野について、その目的及び構想を、研究指導を希望する教員と相談の上、所定の用紙に、1,000字以内で記入してください。

推薦書	任意	所定の用紙に必要事項を記入した、原則として出身大学の指導教員が作成し、厳封したもの
TOEIC又はTOEFLの成績証明書	化学機能創生コース、電気電子創生工学コースへの志願者	TOEICは“Official Score Certificate”（公式認定証）、TOEFLは“Examinee’s Score Record”の原本を出願時に提出するものとし、団体受験用のTOEIC（IP）及びTOEFL（ITP）のスコアは受け付けません。
受験許可証	現に大学院博士後期課程に在職中の者	所定の用紙に所属長の許可を得て提出。
検定料払込証明書	下記以外	検定料は30,000円です。所定の用紙により、検定料を最寄りのゆうちょ銀行または郵便局窓口から払い込んでください。ゆうちょ銀行または郵便局で検定料振込時に受領した「検定料払込証明書（志願者用）」を「検定料払込証明書（本学所定）」にはって提出してください。
		本学研究科又は本学教育部の博士前期課程を修了し、引き続き本課程に進学する者及び外国人志願者のうち日本政府（文部科学省）国費留学生は不要。
あて名票	全員	所定の用紙に必要事項を記入してください。
受験票送付用封筒	全員	所定の封筒に、受領する場所の郵便番号、住所、氏名を明記し、 <b>350円分</b> の郵便切手を所定の箇所にはってください。

(注) 出願資格(5)、(6)に該当する者は、「修了証明書」、「大学院成績証明書」及び「修士学位論文要旨」を提出しなくてかまいません。また、「研究業績調書」も既に提出済のため、再提出しなくてかまいません。

### (3) 出願に際しての注意

- ① 願書受付期間を過ぎて到着した出願書類は受理しません。郵送の場合は郵送期間を十分考慮のうえ、送付してください。
- ② 出願書類等に不備がある場合は、受理しません。また、出願後は、原則として記載事項の変更を認めません。
- ③ 出願書類を受け付けた受験者に対しては、後日試験室の案内とともに受験票を送付します。
- ④ 受理した出願書類及び入学検定料は、返還しません。
- ⑤ 出願書類に虚偽の記載をした者及びその他不正な事実が判明した者については、入学後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- ⑥ 出願後、「合格通知送付先」に変更があった場合には、速やかに連絡してください。

## 6 合格者の発表

合格者の受験番号を次のとおり発表するとともに、合格者あてに文書で通知します。

なお、電話等による可否の問い合わせには応じられません。

場 所	発 表 日 時	発 表 方 法
工 学 部	平成22年2月26日(金) 9時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工学部正門掲示板にて掲示</li> <li>・工学部学務係ホームページ（下記URL）にて掲載 <a href="http://www.e.tokushima-u.ac.jp/">http://www.e.tokushima-u.ac.jp/</a></li> </ul>

### 入学許可の取消し

合格者が、入学手続き完了後に、見込まれていた入学資格を取得できなかった場合等には、入学許可を取り消します。



# 社会人特別入試

## 1 募集人員

専攻	コース	募集人員	講座内容
知的力学システム 工学専攻	建設創造システム工学コース	若干人	建設構造工学 環境整備工学 社会基盤工学 社会システム工学
	機械創造システム工学コース		機械科学 機械システム 知能機械学 生産システム ナノプロセッシング 工学講座（連携講座）
環境創生工学専攻	化学機能創生コース	若干人	物質合成化学 物質機能化学 化学プロセス工学
	生命テクノサイエンスコース		生物機能工学 生物反応工学
	エコシステム工学コース		資源循環工学 社会環境システム工学 海洋環境工学（連携講座）
システム創生工学専攻	電気電子創生工学コース	若干人	物性デバイス 電気エネルギー 電気電子システム 知能電子回路 電気エネルギー（連携講座）
	知能情報システム工学コース		基礎情報工学 知能工学
	光システム工学コース		光機能材料 光情報システム

## 2 出願資格

下記のいずれか一つに該当し、各種の研究機関、教育機関、企業等に正規職員として勤務している研究者又は技術者で、入学後もその身分を有し、所属長より推薦を受けた者

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び平成22年3月31日までに取得見込みの者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成22年3月31日までに取得見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成22年3月31日までに取得見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成22年3月31日までに授与される見込みの者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 本教育部において、個別の入学資格審査により上記(1)に規定する者と同等以上の学力があると認めた者で、平成22年3月31日までに24歳に達する者

### 出願資格(5)、(6)の認定について

- 1 出願資格(5)に定める「文部科学大臣の指定した者」の範囲は、次の①及び④の要件を満たす者であること。  
出願資格(6)に定める「修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者」の範囲は、次の②又は③及び④の要件を満たす者であること。
  - ① 大学を卒業し、又は学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者であること。

- ② 大学を卒業し、又は学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された後、科学・技術関係分野で2年以上の業務経験があること。
- ③ 短期大学、高等専門学校、専修学校及び各種学校の卒業後又はその他の教育施設の修了後、大学、企業及び公設の研究所等において4年以上研究に従事するか、又は科学・技術関係分野で4年以上の業務経験があること。
- ④ 著書、学術論文、学術講演、学術報告及び特許等において修士学位論文と同等以上の価値があると認められる研究業績を有する者であること。
- 2 出願書類は、徳島大学大学院先端技術科学教育部において入学試験出願資格認定審査が終了するまで、その受理を保留します。

該当する志願者は、「最終学歴の卒業証明書」及び「入学試験出願資格認定審査調書」（本教育部所定の用紙）及び「研究業績調書」（本教育部所定の用紙）に論文の別刷等を添付し、平成22年1月13日（水）までに工学部学務係に提出してください。

### 3 入学者の選抜方法

#### (1) 選抜方法

入学者の選抜は、口述試験及び書類審査の結果を総合して行います。

#### (2) 検査科目、試験日時及び場所

コース	2月16日（火）		場 所
	科 目	時 間	
建設創造システム工学コース	口述試験	9:00～	徳島市南常三島町2-1 工学部講義室配置を参照 (試験室等については、希望指導教員から通知する。)
機械創造システム工学コース	口述試験	9:00～	
化学機能創生コース	口述試験	9:00～	
生命テクノサイエンスコース	口述試験	9:00～	
エコシステム工学コース	口述試験	9:00～	
電気電子創生工学コース	口述試験	9:00～	
知能情報システム工学コース	口述試験	9:00～	
光システム工学コース	口述試験	9:00～	

(注)

- 口述試験の内容  
修士論文、研究業績調書、志望理由書、研究計画書等の内容について行います。
- 口述試験の時間及び試験室  
口述試験の開始時間及び試験室については希望指導教員より通知します。

### 4 障害のある入学志願者との事前相談

受験上及び修学上で特別な配慮を必要とする場合は、次のとおり工学部学務係に申し出てください。

#### (1) 時期

平成22年1月13日（水）まで

**(注) 特別措置等の方法を検討する必要がありますので、できるだけ早い時期に相談してください。**

#### (2) 方法

次の①～⑦に記載した書類（様式は任意）を提出してください。

- 氏名、生年月日
- 志望専攻、コース
- 現住所、電話番号及び保護者の連絡先
- 障害の種類、程度（後日、健康診断書の提出を依頼する場合があります。）
- 受験の際に特別な配慮を希望する事項及び内容
- 出身学校在学中にとられていた特別措置及び出身学校名

⑦ 日常生活の状況等

## 5 出願手続

(1) 願書受付期間及び出願方法

① 願書受付期間

平成22年1月26日(火)から平成21年1月28日(木)17時まで(必着・郵送を含む。)  
(受付時間:9時~17時 ただし12時~13時を除く。)

② 出願方法

出願書類等は本募集要項添付の封筒を使用してください。  
なお、郵送の際は、必ず「書留速達」としてください。

③ 提出先

〒770-8506 徳島市南常三島町2-1 徳島大学工学部学務係  
電話 088-656-7315~7317 Fax 088-656-2158

④ 募集要項の請求

願書を郵便で請求する場合は、あて名を明記し、390円切手を貼った返信用封筒(角2封筒33.2cm×24.0cm)を同封してください。

⑤ 出願手続き等に不明の点がある場合は、工学部学務係に照会してください。

(2) 出願書類等

書類等の種別	該当者	記入方法, 注意事項等
入学願書 受験票	全員	所定の用紙に必要な事項を記入してください。 受験票及び写真票には上半身, 脱帽, 正面向きで同一の写真(縦4cm×横3cm, 最近撮影した本人確認が可能なもの)をはってください。
修了証明書	本研究科博士前期課程 修了者	不要。
	上記以外	必要。出身大学長(研究科長)が作成した修士課程修了証明書。
成績証明書 (学部及び大学院)	全員	出身大学(学部)長又は(研究科)長が作成し, 厳封したもの。
修士学位論文要旨	全員	所定の用紙に, 2,000字以内で記入してください。なお, 関連した論文の別刷又は学術講演, 特許等がある場合は, そのコピーを添付してください。
研究業績調書	修士論文に関連したものの他に研究業績を有する者	修士論文に関連したものの他に研究業績を有する者は, 所定の用紙(本学生募集要項とじ込み)に, 著書, 学術論文, 学術講演, 学術報告, 特許及び実用新案等社会における研究活動状況を示すものを記入してください。なお, 関連した論文の別刷等の資料を添付してください。
研究計画書	全員	研究を希望するテーマあるいは分野について, その目的及び構想を, 研究指導を希望する教員と相談の上, 所定の用紙に, 1,000字以内で記入してください。
推薦書	勤務先で所属長の職にある者以外	所定の用紙に, 勤務先の所属長又はこれに準ずる者が作成し, 厳封したもの。
志望理由書	全員	所定の用紙に, 本教育部に入学し, 勉学, 研究を行いたいと考えた動機及び目的を, 所定の用紙に, 1,000字以内で記入してください。



## 8 個人情報の取扱い

- (1) 出願書類等に記載された氏名、生年月日、その他の個人情報については次の目的をもって、本学が管理します。
  - ① 入学者選抜、合格通知及び入学手続等の入試業務
  - ② 合格者の入学後の教務関係（学籍管理、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、奨学金援助、就職支援等）、授業料等に関する業務
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入試結果の集計、分析及び入学者選抜方法の調査、研究（入試の改善や志願動向の調査、分析等）のために利用します。

## 9 学修と研究及び教育方法の特例について

学修と研究について

入学後は学則に定められた教育課程に基づき、原則として教育部担当教員の指導の下で、学修と研究に専念するものとします。

なお、入学後の身分（現職、休職）は、当該官公庁・企業等の定めるところによることとし、専攻・コースによっては、勤務地等が通学可能距離にある場合、昼夜開講等弾力的に対処する場合があります（下記の特例による教育参照）。また、博士論文を作成する場合、指導教員の許可を受け、かつ、その指導の下で、勤務先での研究課題を取り上げ、その設備、機器等を使用して研究を行うことも場合により可能です。

### 大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例による教育について

通常、官公庁・企業等において勤務している社会人研究者・技術者が博士後期課程で学ぶ場合、3年間完全に勤務を離れ、学業に専念することになります。この修学条件を満たすことが難しい社会人学生に対しては、大学院設置基準第14条に「大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」ことが規定されているため、この制度を利用して教育方法の特例を実施します。

### 長期履修学生制度について

学生が職業を有しているなどの事情により、通常の学生に比べて年間に修得できる単位数が限られるため、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望する者に対して、申請に基づき、大学が審査し、その長期にわたる計画的な履修を認め、その在学期間中の授業料の負担を軽減することができる制度です。詳細は工学部学務係に照会してください。